

平成19年度 教師海外研修(派遣国:マレーシア)実践報告書

1. タイトル 世界とつながっているよ～私たちにできること～
2. 氏名 持田 綾
- 学校名 八尾市立刑部小学校 担当教科 全教科
3. 実践教科 総合的な学習の時間 時間数 3時間
4. 対象生徒・学年 小学校3年生 対象人数 2学級(75名)
5. カリキュラム案

(1)実践の目的

- ・ 世界の中のひとつの国マレーシアを写真やモノにより紹介することから、日本とは違う生活や文化があることを知り、世界に親しむ。
- ・ 日本とマレーシアのつながりを知ることより、熱帯雨林の破壊という現状がわたしたちの生活と深く関わっていることを考える。また、自分たちにできることを考え行動する力を養う。

(2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1限目 テーマ:世界みんな、こんにちは! ねらい:世界にはいろいろな国があることを知り、興味を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球、世界の国について ・動物—国名あてクイズ ・あいさつ—国名あてクイズ ・マレーシアの写真紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀、世界地図 ・動物の写真 ・マレーシア研修中の写真
2限目 テーマ:スラムマップタン!マレーシア ねらい:マレーシアの生活・文化に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ(1限目の復習) ・マレーシアボックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の写真 ・マレーシアで収集した写真・モノ ・オラウータンのぬいぐるみ
3限目 テーマ:わたしたちにできること ねらい:私たちの生活はマレーシア(地球)とつながっていることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯雨林の破壊を知る(絵本) ・身近にある熱帯雨林のモノ探し ・パーム油を使用しているモノの紹介 ・自分たちにできることを考え、記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本 (「Kojiu and the Banana tree in the Lower Kinabatangan」) ・パームやしの実、スプーン ・ワークシート

6. 授業実践の詳細

1限目:世界みんな、こんにちは!

- ① 地球儀・世界地図による説明
- ② 動物—国名あてクイズ(写真使用)
- ③ あいさつ—国名あてクイズ
 - ・ ニホンザル — こんにちは — 日本(日本語)
 - ・ オラウータン — スラムマップタン — マレーシア(マレーシア語)
 - ・ コアラ — ハロー — オーストラリア(英語)
 - ・ キリン — ジャンボ — ケニア(スワヒリ語)
 - ・ パンダ — ニーハオ — 中華人民共和国(中国語)

④ マレーシア研修中の写真紹介

【児童の反応】

夏休み前から、「先生はこの夏休みにマレーシアへみんなのことを紹介しに行きます。」と、伝えており、クラスの写真もとっていた。よって、9月から、子どもたちはマレーシアの学習を心待ちにしていた。授業が始まったのが、11月だったので、子どもたちは「待ってました！」とばかりに、興味深く集中していた。とても素直に目の前の情報を吸収している様子が伝わってきた。

【感想】

・マレーシアにもドラゴンボールやコナンがあってびっくりした。・先生がしてたマジックを、マレーシアの子がしていて、うれしかった。ほんとに、ぼくたちの写真をみてくれていた。

2限目:スラマップタン マレーシア!

① あいさつ(1限目の復習)

② マレーシアボックス

・生活班8グループを利用 (写真)トダウンをつける女性 トイレ 象の足跡 ニッパやしのほうき
地下鉄の乗車時の注意の看板 エスカレーターの乗降時の注意の看板
(モノ)シナモン セパタクロー

【児童の反応】

マレーシアボックスでは、グループごとに活発に意見を交わすことができていた。それぞれのグループで正解を出すところまで話し合いができた。子どもたちの新鮮な感性にあらためて驚かされた。

【感想】

・ゾウがほんとにいるんだと聞いておどろいた。でも、日本とおなじように、電車も走っているんだと思った。・シナモンは紅茶のにおいがした。・パンとかドーナツについてる。・セパタクローを、けったらい良かった。むずかしかった。・サロンを着せてもらいました。きれいでした。

3限目:わたしたちにできること

① 絵本を読む。コジュ君がこまっていることとして紹介。

② 身近にある熱帯雨林でうまれたものを探す。

(机、いす、黒板、紙、ノート、トイレトーパー…など、木を連想するものは多く出た。)

③ パーム油についてとりあげる。

(お菓子のふくろ、洗剤を紹介)

④ コジュ君も私たちもこまらないで生活するにはどうしたらいいか、考えよう。

【児童の反応】

コジュ君の人形は効果的で、親近感をもって絵本の中の世界にはいりこめたようだ。3年生なりに、自分たちの生活と遠い国の森がつながり、そこで起こっている現実を理解したようだった。難しい説明は、なるべく省略したため、全体に伝わった。しかし、もっと知りたいと思う児童にとっては、物足りなかったようだ。授業後、詳しく質問してくる姿があった。

7. 感想

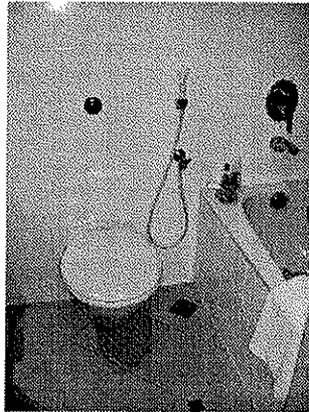
子どもたちは、はじめて知ることだらけなので、集中し、よく吸収してくれた。3年生は、自分たちの校区が全ての中で生活している。社会科では、自分の住んでる市町村の学習をすすめているなかで、世界の国は、3年生にとっては想像をはるかにこえる広い世界なのだろう。よって、教師の説明が多くならないように注意し、3年生ならではの視点で考えてほしいと思った。結果、マレーシアという国の名前は印象に残ったようで、テレビやどこかでみたら、報告してくれたり、オラウータンのコジュ君ともよく遊んでいる。また、ものや食べ物を大切にしようとする姿もみられる。このような意識を、一人でも多く、少しでも長く考えると、忘れたころにまた、「スラマップタン! マレーシア パートII」を取り入れられたらと思った。

8. 使用した教材

①



②



③



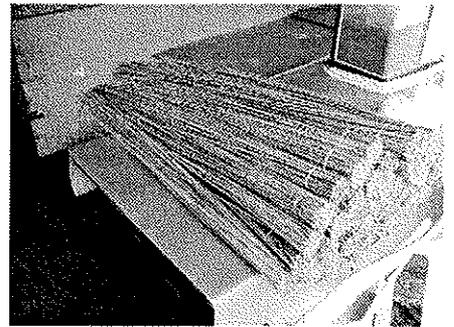
④



⑤



⑥



【マレーシアボックス(写真)】

- ①トダウンをつけた女性
- ②トイレ
- ③象の足跡
- ④地下鉄の乗車時の注意の看板
- ⑤エスカレーター乗降時の注意の看板
- ⑥ニツパやしのほうき